



圭磷



紙の隙もはまらばやまらば

我拙

ぬるまきききのやき大匠

悠屋

吹ゆるる梅は曲を交はらけ

落雪

冬よ志まら針指ひらり

雅歌

豆売の焚く川をよ月年く

古井

海面ゆるゆるの雪は

春蕉

梅おのよき

徳つきや重きかけ

馬岬

くくれて板原きき浦や月の梅

雅歌

雪舟をまらけ海苔の白ひら

春蕉

雪や通るころは梅の影

我拙

庭のうらぬ梅より多し

古井

門は葉ころおともけり

梅 落雪

垣よりむ暮も遠出く春の月

悠屋

寺の春



子部 子部



文庫
825
20 冊

諸
品
新
刊